

銀色のサルに、金色の赤ちゃん誕生！

～シルバールトンに赤ちゃんがうまれました～

前略

いつもお世話になっております。

日本モンキーセンターではこの春もベビーラッシュを迎え、かわいらしいサルの赤ちゃんが園内のあちこちで誕生しております。

その中でも、ひときわ目立つ赤ちゃんが生まれましたので、お知らせいたします。

シルバールトンは銀色の毛が美しいサルですが、親の色とは全く異なり、**赤ちゃんは金色の毛に包まれて、生まれてきます。**

この金色の毛は、約1ヶ月ほどで生え変わり始め、3ヶ月もすると、母親と同じ銀色の毛に生え変わり、顔も黒くなります。

金色の毛をしているこの貴重な期間に、金色と銀色の母子の様子をぜひみなさまにご覧いただきたく、別紙のとおりご案内いたします。

草々



写真は過去に生まれた赤ちゃんのものです。

今回誕生した赤ちゃんについて

赤ちゃんの名前：ティア
生年月日：2008年5月19日（生後4日）
母親の名前：アポロ（1991年5月13生まれ 17才）
展示場所：日本モンキーセンター内 アジア館

まだ生まれて間もないため、お母さんに抱かれています。おっぱいを飲んだり、まわりを見渡したり、元気な様子を久しぶりに見せてくれています。

シルバールトンには国内で数園の動物園で飼育されていますが、当園のシルバールトンの中でも最も銀色が美しいタイプです。

シルバールトンについて

種名：シルバールトン
英名 Silvered Lutong
学名 *Trachypithecus cristatus*

生息地：ボルネオ島、スマトラ島、ベトナム、カンボジア、タイなどの一部

特徴：

- ・全身が銀灰色の毛で覆われた、アジアのコロブス。日本モンキーセンターの飼育個体は特に銀色が美しい。
- ・生まれたばかりの赤ん坊は金色をしており、3か月ほどで親と同じ銀灰色になる。
- ・木の葉を主食とする。
- ・単雄複雌の群れをつくる。すべてのオスと一部のメスが群れを移籍する。
- ・ワシントン条約付属書 に記載され、絶滅のおそれがある。

日本モンキーセンターについて

世界最多種、70種以上約750頭のサル類を飼育している世界屈指のサル類動物園です。また動物園としては国内で唯一の登録博物館でもあり、学芸員や研究員が常駐し、研究、教育活動にも力を入れています。

近年オープンした Wao ランドやモンキースクランブルは、サルたちの自然な行動が見られる生態展示として、話題を集めています。また園内で神出鬼没のシークレットガイドやスクランブルガイドなど、様々なイベントでサルたちの魅力を感じていただいています。

お問合せ先

日本モンキーセンター

本件の担当：赤見(学芸員)、加藤(園長)、名畑、辻村(飼育担当)

TEL：0568 - 61 - 2327 FAX：0568 - 62 - 6823

取材のお申込は以下のお問合せフォームよりご連絡いただきますと確実です。

<http://www.j-monkey.jp/press/>